

# Adobe® InDesign® 2022 スクリプティング — お読みください

本ドキュメントには、Adobe InDesign 2022 のスクリプティングに関する次の情報が記載されています。

- ▶ InDesign のスクリプティングマニュアルの概要 ([1 ページの「InDesign のスクリプティングマニュアル」](#)を参照)
- ▶ スクリプトの実行方法 ([2 ページの「スクリプトの実行」](#)を参照)
- ▶ InDesign のサンプルスクリプトのリストと簡単な説明 ([2 ページの「サンプルスクリプト」](#)を参照)
- ▶ InDesign のスクリプティングに関する既知の問題 ([9 ページの「InDesign のスクリプティングに関する既知の問題」](#)を参照)

InDesign のスクリプティングについて詳しくは、InDesign デベロッパーマニュアルページ (<https://www.adobe.io/apis/creativecloud/indesign.html>) (英語) を参照してください。または、InDesign Scripting ユーザーフォーラム ([http://forums.adobe.com/community/indesign/indesign\\_scripting](http://forums.adobe.com/community/indesign/indesign_scripting)) (英語) にアクセスしてください。

InDesign のスクリプティングに関する最新情報については、InDesign デベロッパーマニュアルページに掲載されているこのファイルの最新版を参照してください。

## InDesign のスクリプティングマニュアル

InDesign のスクリプティングマニュアルは、上述の InDesign デベロッパーマニュアルページからダウンロードできます。InDesign のスクリプティングマニュアルセットには、次のマニュアルが含まれています。

- ▶ 『Adobe InDesign スクリプティングチュートリアル』 — InDesign のスクリプティングに初めて携わる方のためのマニュアルです。AppleScript、JavaScript、VBScript が 1 つの PDF 文書にまとめられています。このマニュアルに記載されているスクリプトは、1 つの ZIP アーカイブとして配布されています。PDF からスクリプトをコピーすることも可能です。
- ▶ 『Adobe InDesign スクリプティングガイド』 (AppleScript、JavaScript、VBScript の各バージョン) — InDesign のスクリプティングに関するより高度な内容が含まれています。チュートリアルの全スクリプトは 1 つの ZIP アーカイブに含まれているため、PDF からスクリプトをコピーして貼り付ける必要はありません (テキストに記載されているスクリプトのほとんどは、特定のプロパティ、メソッド、または技法を説明するための断片的なスクリプトです)。
- ▶ 『JavaScript Tools and Features』 — ExtendScript Toolkit を使用した JavaScript 開発、ScriptUI を使用したユーザーインターフェイスの作成、ファイルオブジェクトやフォルダーオブジェクトの使用など、ExtendScript 言語 (アドビ版 JavaScript) に特有の機能について説明しています。

InDesign には『Scripting Reference』の PDF はありません。スクリプト編集アプリケーションに含まれているオブジェクトモデルビューアを代わりに使用してください (『Adobe InDesign スクリプティングチュートリアル』を参照)。

InDesign のサンプルスクリプトはデフォルトでインストールされます。スクリプトはスクリプトパネル (ウィンドウ/ユーティリティ/スクリプト) に表示されます。

## スクリプティングマニュアルのスクリプトのインストール

サンプルスクリプトだけでなく、スクリプティングマニュアルに記載されているすべてのスクリプト（断片的なスクリプト）は InDesign デベロッパーマニュアルページからダウンロード可能です。

スクリプト ZIP アーカイブをダウンロードしてアーカイブからスクリプトを展開したら、使用する言語（AppleScript、JavaScript または VBScript）のフォルダーを、**Scripts Panel** フォルダーに移動します。スクリプトのインストールについて詳しくは、『Adobe InDesign スクリプティングチュートリアル』を参照してください。

## スクリプトの実行

スクリプトを実行するには、スクリプトパネルでスクリプト名をダブルクリックします。

Windows の場合は、VBScript（.vbs というファイル拡張子）または JavaScript（.jsx というファイル拡張子）を実行できます。Mac OS の場合は、AppleScript（.applescript というファイル拡張子）または JavaScript を実行できます。

## サンプルスクリプト

サンプルスクリプトを初めて実行する前に作業内容を保存することを忘れないでください。

重要な InDesign ドキュメント上で実際にスクリプトを使用する前に、サンプルスクリプトの動作について理解できるように、サンプルスクリプトを試してみてください。

InDesign には、次のサンプルスクリプトが含まれています。

| スクリプト名                                | 説明  | 詳細参照ページ           |
|---------------------------------------|---|-------------------|
| <a href="#">AddGuides</a>             | 選択した 1 つまたは複数のオブジェクトの周囲にガイドを追加します。                    | <a href="#">4</a> |
| <a href="#">AddPoints</a>             | 選択した 1 つまたは複数のオブジェクトのパスにポイントを追加します。                   | <a href="#">4</a> |
| <a href="#">AdjustPageItems</a>       | 右/左ページ上の指定した距離にオブジェクトを移動します。                          | <a href="#">4</a> |
| <a href="#">AlignToPage</a>           | オブジェクトをページ上の指定位置に揃えます。                                | <a href="#">5</a> |
| <a href="#">AnimationEncyclopedia</a> | アニメーション機能のスクリプト記述方法を示します。                             | <a href="#">5</a> |
| <a href="#">BreakFrame</a>            | 選択したテキストフレームとその内容をストーリーから削除します。                       | <a href="#">5</a> |
| <a href="#">CornerEffects</a>         | 多様な角の効果を使用して、選択項目のパスを再描画します。角の効果はパス上の選択したポイントに適用できます。 | <a href="#">5</a> |
| <a href="#">CreateCharacterStyle</a>  | 選択したテキストに基づいて文字スタイルを定義します。                            | <a href="#">6</a> |
| <a href="#">CropMarks</a>             | 選択した 1 つまたは複数のオブジェクトの周囲にトンボとレジストレーションマークを追加します。       | <a href="#">6</a> |
| <a href="#">ExportAllStories</a>      | ドキュメント内のすべてのストーリーをテキストファイルに書き出します。                    | <a href="#">6</a> |
| <a href="#">FindChangeByList</a>      | タブ区切りテキストファイルを読み取り、一般的なテキストの検索と置換操作を行います。             | <a href="#">7</a> |

| スクリプト名                            | 説明  | 詳細参照ページ           |
|-----------------------------------|---|-------------------|
| <a href="#">ImageCatalog</a>      | 指定したフォルダー内のすべてのグラフィックを <b>contact sheet</b> レイアウト内に配置します。 | <a href="#">7</a> |
| <a href="#">MakeGrid</a>          | 選択した 1 つまたは複数のオブジェクトを分割または複製してグリッドを作成します。                 | <a href="#">7</a> |
| <a href="#">Neon</a>              | 選択した 1 つまたは複数のオブジェクトにブレンド効果を適用します。                        | <a href="#">7</a> |
| <a href="#">PathEffects</a>       | クリエイティブな効果を加えるために、選択した 1 つまたは複数のオブジェクトのパスポイントの位置を変更します。   | <a href="#">8</a> |
| <a href="#">PlaceMultipagePDF</a> | PDF のすべてのページを配置します。                                       | <a href="#">8</a> |
| <a href="#">SelectObjects</a>     | オブジェクトタイプに従ってアクティブなスプレッド上のオブジェクトを選択します。                   | <a href="#">8</a> |
| <a href="#">SortParagraphs</a>    | 選択範囲内の段落をアルファベット順に並べ替えます。                                 | <a href="#">8</a> |
| <a href="#">SplitStory</a>        | 選択ストーリー内のテキストフレームを個別のリンクされていないテキストフレームに分割します。             | <a href="#">9</a> |
| <a href="#">TabUtilities</a>      | 選択したテキストにタブストップおよびインデントを適用します。                            | <a href="#">9</a> |

# スクリプトの説明

この節では、各サンプルスクリプトについて簡単に説明します。

## AddGuides

選択した 1 つまたは複数のオブジェクトの周囲にガイドを追加します。

説明：

- ▶ 選択されたオブジェクトに対する処理
- ▶ オブジェクトからのページ座標の取得
- ▶ スプレッドへのガイドの追加
- ▶ レイヤーの作成（およびレイヤーが既に存在するかの確認）
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成（このサンプルには、InDesign の **dialog** オブジェクトで作成されたダイアログボックスと、ExtendScript の **ScriptUI** 機能を使用して作成されたオプションダイアログボックスの両方が含まれています）

## AddPoints

選択した 1 つまたは複数のオブジェクトのパスにポイントを追加します。

説明：

- ▶ 選択されたオブジェクトに対する処理
- ▶ ベジエ計算およびパスポイントの操作
- ▶ **entire path** プロパティの使用
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## AdjustPageItems

右／左ページ上の指定した距離にオブジェクトを移動します。

説明：

- ▶ **move** メソッドを使用したオブジェクトの移動
- ▶ ページ範囲の操作
- ▶ ページが右ページであるか、左ページであるかの判断
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## AlignToPage

オブジェクトをページ上の指定位置に揃えます。

説明：

- ▶ `move` メソッドを使用したオブジェクトの移動
- ▶ ページサイズとページマージンの操作
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## AnimationEncyclopedia

アニメーション機能のスクリプト記述方法を示します。

説明：

- ▶ タイミング設定とタイミングリスト、タイミンググループの使用
- ▶ キーフレームとアニメーション変形の操作
- ▶ モーションプリセットの使用

## BreakFrame

選択したテキストフレームとその内容をストーリーから削除します。

説明：

- ▶ `duplicate` メソッドの使用
- ▶ テキストフレームの内容の操作

**注意：**`BreakFrame` は、テキストフレーム内に他のテキストフレームから継続する表または他のテキストフレームに継続する表が含まれている場合、正しく動作しません。

## CornerEffects

多様な角の効果を使用して、選択項目のパスを再描画します。角の効果はパス上の選択したポイントに適用できます。

説明：

- ▶ 選択の操作
- ▶ 簡単なパスに対する数学的な操作
- ▶ `entire path` プロパティの使用
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## CreateCharacterStyle

選択したテキストに基づいて文字スタイルを定義します。

説明：

- ▶ 選択されたオブジェクトに対する処理
- ▶ 文字スタイルの作成
- ▶ テキストオブジェクトからのテキスト書式属性の取得
- ▶ 文字スタイルプロパティの適用

## CropMarks

選択した 1 つまたは複数のオブジェクトの周囲にトンボとレジストレーションマークを追加します。

説明：

- ▶ 選択されたオブジェクトに対する処理
- ▶ オブジェクトからのページ座標の取得
- ▶ 一連の選択項目の境界ボックスの検出
- ▶ グラフィックの線および楕円の描画
- ▶ スウォッチ（およびレジストレーションカラー）の適用
- ▶ レイヤーの作成（およびレイヤーが既に存在するかの確認）
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## ExportAllStories

ドキュメント内のすべてのストーリーをテキストファイルに書き出します。

説明：

- ▶ テキストの書き出し
- ▶ JavaScript のファイル／フォルダーオブジェクトおよびメソッドの使用（JavaScript のみ）
- ▶ ID 属性に基づいたファイル名の作成
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## FindChangeByList

タブ区切りテキストファイルを読み取り、一般的なテキストの検索と置換操作を行います。

詳しくは、スクリプトの先頭または **FindChangeList.txt** ファイルの先頭を参照してください。**FindChangeList.txt** ファイルに独自の検索と置換操作を追加したり、独自のファイルを作成したりすることができます。

説明：

- ▶ ファイルとフォルダーの操作
- ▶ 実行中のスクリプトからの相対的なファイル／フォルダーの検索
- ▶ テキストの検索と置換方法（**text**、**grep**、**glyph**）
- ▶ テキストファイルからのタブ区切りテキストデータの読み込み

## ImageCatalog

指定したフォルダー内のすべてのグラフィックを **contact sheet** レイアウト内に配置します。

説明：

- ▶ ファイルとフォルダーの操作
- ▶ グラフィックの配置および調整
- ▶ テキストフレームの作成とテキストの入力
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## MakeGrid

選択した 1 つまたは複数のオブジェクトを分割または複製してグリッドを作成します。

説明：

- ▶ オブジェクトの複製と移動
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## Neon

選択した 1 つまたは複数のオブジェクトにブレンド効果を適用します。

説明：

- ▶ オブジェクトの複製
- ▶ 線色の適用
- ▶ オブジェクトのグループ化
- ▶ グラフィックフォーマット属性（カラー、線幅、濃淡）の適用
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## PathEffects

クリエイティブな効果を加えるために、選択した 1 つまたは複数のオブジェクトのパスポイントの位置を変更します。

説明：

- ▶ 選択されたオブジェクトに対する処理
- ▶ オブジェクトの複製
- ▶ ベジエ計算およびパスポイントの操作
- ▶ 簡単な三角法の使用
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## PlaceMultipagePDF

PDF のすべてのページを配置します。

説明：

- ▶ PDF 属性の操作
- ▶ グラフィックの配置
- ▶ ページの追加
- ▶ ファイルの選択
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## SelectObjects

オブジェクトタイプに従ってアクティブなスプレッド上のオブジェクトを選択します。

説明：

- ▶ ページ項目の基本的な取得方法
- ▶ 選択
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## SortParagraphs

選択範囲内の段落をアルファベット順に並べ替えます。

説明：

- ▶ テキストオブジェクトの **move** メソッド
- ▶ 簡単なバブルソート



## SplitStory

選択ストーリー内のテキストフレームを個別のリンクされていないテキストフレームに分割します。

説明：

- ▶ オブジェクトの複製
- ▶ オブジェクトの削除
- ▶ ストーリー内の各テキストフレームに対する反復処理

**注意：** SplitStory は、ストーリー内のテキストフレームに他のテキストフレームから継続する表または他のテキストフレームに継続する表が含まれている場合、正しく動作しません。

## TabUtilities

選択したテキストにタブストップおよびインデントを適用します。

説明：

- ▶ タブストップとインデントの操作
- ▶ テキストオブジェクトからのページ位置の取得
- ▶ カーソルを含むテキスト列の取得
- ▶ ユーザーインターフェイスの作成

## InDesign のスクリプティングに関する既知の問題

### JavaScript スタートアップスクリプトの場所

ユーザースタートアップスクリプトは、ExtendScript エンジン初期化スクリプトの場所ではなく（ここに格納されたスクリプトはエンジンの初期化時に実行されます）、InDesign スタートアップスクリプトの場所（ここに格納されたスクリプトはアプリケーションの起動のたびに一度実行されます）に保存する必要があります。

InDesign の起動時にスクリプトを自動実行させるには、InDesign フォルダー内の Scripts フォルダーの下にあるスタートアップ用のフォルダーである startup scripts フォルダーにスクリプトファイルを保存します（このフォルダーがない場合は作成してください）。

### opacity gradient stop に中間点の場所を設定できない

gradient feather settings オブジェクトの最初の opacity gradient stop に中間点の場所を設定しようとすると、InDesign からエラーが返されます。

## InDesign の外部で実行したスクリプトでパーシスタント ExtendScript エンジンを作成できない (JavaScript のみ)

『Adobe InDesign スクリプティングガイド：JavaScript』の第2章「スクリプティング」で説明しているとおり、ExtendScript スクリプトでは ExtendScript エンジンのパーシスタントインスタンスを作成することができます。パーシスタントエンジンで定義された関数や変数は、そのエンジンで実行されるその他のスクリプトから使用することができます。パーシスタント ExtendScript エンジンを作成するには、InDesign のスクリプトパネルからスクリプトを実行する必要があります。ExtendScript Toolkit からスクリプトを実行したり、別のアプリケーションから BridgeTalk 経由でスクリプトを実行したりした場合、パーシスタントエンジンは作成されません。

## イベント伝達中に追加または削除されたイベントリスナーが W3C の仕様どおりに処理されない

『W3C Document Object Model (DOM) Level 2 Events Specification』

(<http://www.w3.org/TR/DOM-Level-2-Events/Overview.html> を参照) に、次のような記述があります。

「If an EventListener is added to an EventTarget while it is processing an event, it will not be triggered by the current actions but may be triggered during a later stage of event flows such as the bubbling phase. (参考訳：イベント処理中にイベントターゲットにイベントリスナーが追加された場合、そのイベントリスナーは現在のアクションでは始動しませんが、イベントフローの後の段階（例えば、バブリング段階）で始動する可能性があります。）」

...

If an EventListener is removed from an EventTarget while it is processing an event, it will not be triggered by the current actions. EventListeners can never be invoked after being removed. EventListeners can never be invoked after being removed. (参考訳：イベント処理中にイベントターゲットからイベントリスナーが削除された場合、そのイベントリスナーは現在のアクションで始動しません。イベントリスナーは削除すると一切呼び出されません。)」

InDesign のスクリプティングでは、イベント伝達中にイベントターゲットに追加されたイベントリスナーは、そのイベント中は始動しません。イベント伝達中にイベントターゲットから削除されたイベントリスナーは、そのイベントで始動します（つまり、イベントリスナーはイベント処理が終了してから削除されます）。

## ExtendScript Toolkit に InDesign のスクリプトのリストが表示されない (Mac OS のみ)

ExtendScript Toolkit では、デフォルトで起動時にターゲットアプリケーションが指定されていません。つまり、ExtendScript Toolkit のスクリプトパネル (InDesign のではない) の使用可能スクリプトのリストに、InDesign のスクリプトが表示されないということです。ターゲットアプリケーションを InDesign に設定すると、ExtendScript Toolkit のスクリプトパネルに InDesign のスクリプトが表示されます。

## パッケージ化する前にドキュメントを保存する必要がある

package メソッドを使用する前にドキュメントを保存する必要があります。ドキュメントを保存しないと、InDesign でエラーが発生します。